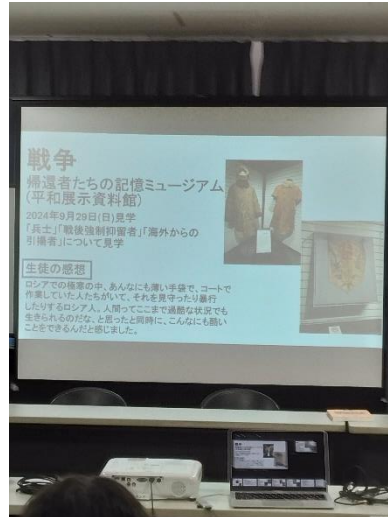


鷺宮高校 社会科FW・活動通信 Vol.26(2025. 2月)

社会科同好会編⑰ 「シンポジウム 子どもが輝く教室・授業づくり」

2025年2月16日(日)、杉並区高井戸区民センターを会場に開催された「シンポジウム 子どもが輝く教室・授業づくり」に、教員3名、生徒8名が参加しました。午前の部では教員4名(小・中・高)のパネルディスカッションを聞き、午後の部では活動報告のプレゼンテーションを行いました。他校の教員に向けて発表するという、緊張感のある取り組みでした！(座席で話す形式でよかったです…)また、昼休憩中に高校生どうしの交流会も行われ、大東学園や佼成学園の生徒とお互いの学校や活動について、短い時間ながらも話すことができました。



以下、参加者の感想の一部を紹介します。

◆自分たちが今までやってきたことを自分たちの言葉で説明できてよかった。先生の授業に対して考えていることなどのお話も聞けて良かった。※鷺宮高校の教員もパネリストとして発言していました

◆4人の教員の方のシンポジウムでは、それぞれ教えている子どもたちの年齢の違いによる授業で考えるべき点が違っているところもあれば同じところもあり、とても興味深かったです。午後の分科会では発表も活動的な様子が見られて良かったです。昭和女子の教員の方のお話はとても面白かったです。個人的には博物館見学のような取り組みが好きなので興味の似たような子と話せるのは楽しいと思います。(昨年までは先生がクイズを作っているとおっしゃっていたので逆に生徒が問題を作るつもりで回ったりすると、より難しい問題を作るために真剣な見学になるのではないかと思います。)大東学園のお2人はお2人自身が行きたいと思う場所に行っていると聞き驚きました。登戸研究所の発表もしていたのでぜひそれについてのお話を一緒にしてみたいです。年始の日韓交流でも、同世代の違う学校の子たちと話すことで新たな視点を得られるのではないかと思いますので今回の分科会をきっかけに他の学校の社会科部活系の子たちと話し合いが出来たら良いと思いました。

◆シンポジウムを聞いていて、先生側の意見が聞けるのが新鮮だった。大人の偏見が子どもも未来の可能性を減らすことだけはしちやいけないと思ったし、そんな大人にはなりたくないと思った。中学の時に作ったキャラクターとか社会の時に糸を作ったこととか思い出して色々考えてくれてたんだって思った。分科会では発表をしたけど、昭和女子大学中高の先生の発表も大東学園もすごかった。大東の発表は自分たちとは少し違うものだったけど2つの場所に行って深く考えるってのもすごいと思ったし、同じ登戸研究所に行ったのにやっぱり考え方も違ったから聞いて面白かった。先生たちの前で発表するの緊張したけどいい経験になった。

◆シンポジウムでは自分たちの今までの活動を、通して見る事ができてやってきたことを確信して何を学習したのか整理することができました。他の学校ではどう言う形で学習しているのか知ることができて視野を広げることができました。

◆短い時間でしたが、ためになるお話しが沢山ありました！本日はそれぞれの学校での活動報告をお聞きして、深く学ぶことの楽しさ、運営側の難しさを学びました。私は最近同好会に参加した者なので具体的な活動というものあまり知らなかったのですが、これまでの歩みや他校での活動のお話は、学校で習う歴史のその先を学んでいるようで面白かったです！